

ヘルパー便り



Kさん、94歳は要支援2で独り暮らしです。

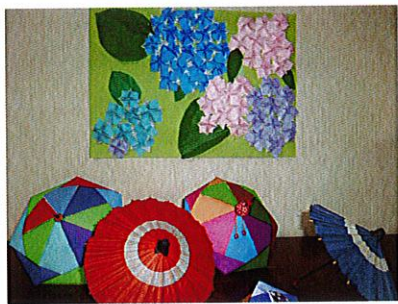
まごころとの出会いは平成25年からで、腱鞘炎や心不全、心筋症の病歴で介護保険を利用される事になりました。

在宅での状況はほとんど自立で、ヘルパーは週1回の掃除で訪問しています。ご自宅でも、歩行器や手すりを使い、転倒しないよう気を付けておられます。

Kさんが長い間続けておられる『折紙』は四季に応じた作品を玄関や居間に飾られ、私たちの目を楽しませて下さっています。

デイサービスも利用されており、作品づくりではKさんが細かい作業を皆さんに教えておられるようです。デイサービスで習った作品をさらにアレンジして自宅でも作り続けておられます。これからも応援しています。

(小川 裕紀子)



デイサービス通信



今年に入って、調理担当に3人の新しい方が入られました。それぞれ献立作りから、買い物、片付けまで一人で行なっています。

衛生面に気を付けて、旬の食材を取り入れ、食べやすく、彩り良く、栄養価を考えて、利用者様にできるだけ喜んで完食して頂けるように工夫して、努力しております。

「美味しかったよ」「いつもありがとう」の言葉が大きな励みになり、頑張っています。(小塚 直子)



心をこめて丁寧に作って下さるまごころ自慢のお昼ご飯。利用者さんからもその過程が見えるガラス張りの厨房で作る四季折々のお食事は絶品です。

5月には、炭火で焼く本格的な豆腐田楽を頂きました。



九品寺公園の紫陽花の前でハイポーズ

ケアマネジャーの目

目薬のさし方 げんこつ法

目薬ってうまく目にいれるの 難しいですよ。今日は目の不自由な方でも自分でうまくさす裏技(げんこつ法)をご紹介します。

1. 手を石鹸と流水で良く洗います。
2. 目薬のキャップを外し点眼容器を持ちます。もう片方の手でげんこつを作ります。げんこつを下瞼にあて、軽く下にひきます。げんこつに点眼容器を持つ手を乗せ、1滴を確実に点眼します。この時、容器の先が瞼やまつ毛に触れないように注意しましょう。
3. 点眼後は、まばたきをせず、瞼を閉じるかあふれた液を清潔なガーゼやティッシュで軽くふき取ってください。
4. そのまましばらく(1~3分間)瞼を閉じるか、るいのう部を指先で軽く押さえます。

*医師、薬剤師の指示がある場合はそれに従ってください。

~作品介绍~

雨が続き、じめじめと湿気が気になる季節です。 デイサービスでは、重曹を使って、湿気取りを作りました。

せっかくなので、お花も挿して華やかに♡



~耳より情報~

~上林記念病院より~

もの忘れ外来開設！！

認知症疾患医療センターとして愛知県より指定を受けました。

認知症鑑別、認知症の行動・心理症状に対しての治療や服薬調整を行います。

「地域に開かれた精神科病院」と「地域の医療機関・福祉施設との連携」を推進するため、ワンストップ窓口として地域医療連携室が配置されています。お気軽にご相談ください。

~知っておきたいヘルパーの知識~

食中毒予防の6つのポイント

5月末、東京の子ども食堂で、ウェルシュ菌による食中毒が発生しました。ウェルシュ菌は、煮物をつかった弁当や、カレーなど大量に加熱調理されて、室温で大きな器のまま保管された食品に多くみられます。

6月の勉強会でも学んだように、家庭でできる、食中毒予防の6つのポイントを再確認し、暑い季節に備えましょう。

1. 食品の購入・・・消費期限をチェック、寄り道しないでまっすぐ帰ろう。
2. 家庭での保存・・・帰ったらすぐ冷蔵庫へ。
3. 下準備・・・手を洗う、タオルやふきんは清潔なものに交換。包丁や器具の消毒。
4. 調理・・・加熱は十分に75℃で1分以上。
5. 食事・・・手を洗う、清潔な器具食器を使う。長時間室温に放置しない。
6. 残った食品・・・時間が経ち過ぎたり、ちょっとでも怪しいと思ったら、思い切って捨てる。

